

---

# こころがさけんでた

シャー芯

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

こころがさけんてた

### 【Nコード】

N1482J

### 【作者名】

シャー芯

### 【あらすじ】

めずらしい、弱い前向きなこころ。

損する生き方、それでもいいんだ。

言葉じゃなくて、お金じゃなくて、ここで生きていたい。

泣きたいときは泣くんじゃなくて、

下唇から血が出るまで噛み締めるんだ。

痛くて、辛くて、死にたくて、消えてしまいたい。

そんな思いばっか、でも無駄な感情じゃない。

その苦しさを乗り越えたとき、

あたたかいところがあふれ出す。

嘘の笑顔で集めた人望なんて涙の素。

寝る前にふと思いい出しては孤独に微笑し、

もう、泣かないよって誰かに言って、

握り締める拳をもう一方でそっと支える。

綺麗ごとだけじゃこの世界居られない。

そんなの嫌だって言っても神様は殺された。

知ってしまったと後悔した日もあったけど、

いまは知る勇氣と信じる強さを知ってるから。

自分が許せない、ほんの少し昔の話。

殺してやるって鏡の前でなきじゃくった。

本当は見えて欲しかった。ただ、それだけ。

涙とか言葉とか、震えることを知ってほしかった。

寒空の下震えてる落ち葉を可哀想だ、

なんて言うところはもう要らない。

枯れ木に、またねって笑って手を振る。  
こころからの、切なありがとうを添えて。

私は弱い人間なんだ、と笑って話す。  
弱いこころはいつも震えてるんだ。

でも、寒いからじゃないし、哀しいからじゃない。  
武者震い、弱さの分だけ立ち向かう。

生きる意味なんてどうだっていい。

ただ、生き続ける。死ぬまで生きる。

震えるこころ、好きなリズムと重なって走り出す。  
向かい風を受け止めて、こころで生きて逝く。

そう、こころがさけんでる。

ずっと、ずっと昔から、さけんでる。

気付かなかっただけで、ずっと。

こころはいつもさけんでた。

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能<sup>たんのう</sup>してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n1482j/>

---

こころがさけんでた

2011年1月26日00時26分発行